

第17期 第2回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 令和2年11月6日（金）午後3時～午後5時
- 開催場所 中央公民館 2階 講座室2
- 出席者 椎名委員長、山田副委員長、小川委員、市川委員、船津委員、白井委員、粕谷委員、菊地委員、塩島委員、中村委員、米山委員、和田委員（順不同）
- 傍聴人 2名
- 議題 第17期小平市緑化推進委員会の検討課題について
- 配付資料 (1) 第17期 第2回小平市緑化推進委員会次第
(2) (仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案）（資料1）
(3) 小平都市計画公園3・3・1号（鎌倉公園）事業概要説明会（資料2）
(4) 小平市立公園等一覧（資料3）

会議の要旨

事務局

「(仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案）」（資料1）について、第1回緑化推進委員会で配付した「(仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案 たたき台）」を、事務局内での検討や環境審議会等の意見を伺い改善したものである。令和2年11月16日から12月15日まで、パブリックコメントという形で市民意見公募の予定である。

次に、第1回の委員会において情報提供依頼のあった内容について、確認結果の報告及び関連する配付資料の説明を行う。

JR武蔵野線トンネル内の一部の湧水活用による放流量について、JR東日本㈱と協定を締結し、令和3年より新堀用水に放流する予定である。実施後の放流量については、JR東日本㈱に報告いただく予定である。

次に、要望いただいていた鎌倉公園の市民向け説明資料について、令和2年10月17日及び19日に行った市民説明会において配付した資料「小平都市計画公園3・3・1号（鎌倉公園）事業概要説明会」（資料2）を配付している。

次に、要望いただいていた市内における公園の園数、提供公園の内訳及び面積について、「小平市立公園等一覧」（資料3）のとおりとなっている。令和2年4月1日時点で市立公園315園のうち提供公園は212園、住宅開発地公園は175園、マンション隣接公園は37園である。

最後に、市内におけるブロック塀等の危険な塀の場所について、公共施設においては平成30年度に改善対策をしたため現在はなく、公共施設以外については民間所有であることから把握はしていない状況となっている。

委員

(仮称)小平市第三次みどりの基本計画(素案)について、第2章における緑被率には社寺林は含まれているか。また、社寺林の面積は把握しているか。

事務局

緑被率は社寺林も含めたものとなっているが、社寺林のみの面積は把握していない。

委員長

JR武蔵野線トンネル内の一部の湧水活用について、工事はどこで行っているのか。詳しい位置や状況など分からないか。

事務局

津田塾大学の南側にある玉川上水立坑から国分寺の西恋ヶ窪立坑の間で配管工事を行っている。おおむね工事は終えていると聞いている。次回、概要書などを用意する。

委員長

次に17期の課題検討に移る。

委員

提案について5点ある。

1点目、鎌倉公園について、高級ぶどうやシャインマスカットを扱う果樹園があるため、そういう形状をそのまま残し、体験型の農園としてぶどう狩り等ができるようにし、農について学べる公園としていければと考える。

2点目、鷹の台公園について、防災公園としての機能を備えた、芝生のある公園を提案する。また、第1回で他の委員から話があった水車の設置について立地的にいいと思う。かまどベンチやマンホールトイレ等のある防災公園として整備し、芝生を整備すれば周囲に高い建物がいないことから、青空の広がる公園になる。また、行き来のしやすいシームレスな空間を提案する。そうすることで、注目を集め、小平市の鷹の台地域の価値が、更に高められたら良いと思う。

3点目、第16期緑化推進委員会で提言した花の街小平大作戦、ハンギングバスケット設置の早期実現について、小平駅南口の駅前広場の花壇から、ルネこだいらの入口方面に延長という位置付けで、数十mの区間に絞って、ハンギングバスケットの設置を早期に実現させたいと思う。灌水装置の整備が整わなくとも、枯れにくい植物を選び、周辺地域のボランテ

ィアの方等、みんなで協力して、水やりを行うこととする。ハンギングバスケットによる立体的な花壇の良さについて、多くの市民に知ってもらうことを第一の目的として実施する。水やり等の調整は、緑化推進委員会の意見を取り入れて、市の関係部署で行ってほしいと思う。その後、灌水装置の整備を含めて、クラウドファンディングにより、整備費や維持管理費の導入も、市の関係部署で行ってほしいと思う。ハンギングバスケット設置が困難な場合は、プランターによる花壇の設置を行い、駅前広場の花壇からルネこだいら入口方面に花壇を延長させて、早期に花を増やせたら素晴らしいと思う。

4点目、中央公園、上水公園、野火止公園、東部公園、鈴木街道公園、たけのこ公園、あじさい公園等の主要な都市公園の安全対策として、安全・安心の維持管理、樹木の剪定等の手入れを引き続き行っていただきたいと思う。それらの公園とは別に、小さな公園である提供公園については、今後の公園の利活用について、緑化推進委員会で検討して行きたいと思う。

5点目、ブリヂストングラウンド等の一般解放について、まずは、各委員の皆様から自由なご意見を出して頂いて、日頃感じている緑に関することについて、お一人ずつお話を頂きたい。災害時の避難場所としてだけでなく、グラウンド内に、半年、1ヶ月に数日間、休日等でも、一般開放をして利用させてもらえるよう、市の関係部署より頼んでいただきたいと思う。

また、今後、提供してほしい情報として、各公園の開園年月日とナラ枯れの状況が分かる資料の提供してほしい。

以上、5つの項目について述べたが間違っている内容等あれば、教えてほしい。今後の緑化推進委員会での意見・提案等をする上で、参考にしたいと思う。

委員長

今後、委員会で審議する中での貴重な意見であったと思う。こういった意見を推進委員会のたたき台にして提案していければと思う。他に何かあるか。

委員

第1回の委員会の際に、玉川上水の維持管理について東京都が管轄していると話があったが、今後、委員会で玉川上水について議論する意味はどれくらいあるのか。

委員長

個人的な意見であるが、議論する意味はある。小平市へは提言書として出しているが、東京都へ出す場合は、文書で出す方法や小平市へ都への報告をお願いするなどができると思う。小平の緑は市だけでなくいろいろなところが管轄しているため、それぞれに申し入れをすればよいと個人的には考える。

委員

玉川上水は東京都の管轄ということでのいいのか。

委員長

玉川上水の堀になっている柵の中は水道局の管轄、他の箇所についても水道局の保有であるが、道路所管部署や市など様々な部署が借りて管理している。

委員

どんぐりの里親制度において育てた苗木を市の公園などで多く活用できないか。

委員長

雑木林のコナラなどのどんぐりを育てた苗木の使い道ということだが、本日欠席している委員の意見にも関連すると思われる。事務局より欠席委員の意見の報告をお願いします。

事務局

欠席の委員から意見をいただいているため、事務局より代わりに報告する。

ナラ枯れの対策を検討課題として提案しようかと考えていた。私は公園管理の仕事についており、保全担当という立場で巡回している。その中で去年から今年にかけてのナラ枯れの急増には驚くばかりである。

この現状に対して行政がどう動いているか、また今後どのように対応していくのか、具体的な内容を委員会として把握し、検討を重ねて提言へ繋げられないかと考える。

また、本委員会による提言は再来年の3月となり、去年から今年にかけての被害を想起すると、提言を提出する頃にはナラ枯れの状況が悪化することは想像に難くないと思う。そのため、通常の提言とは別に今年度中に「緊急提言」のようなものは出せないか。

さらに、樹木害虫というくくりでクビアカツヤカミキリの被害が、現在、拝島橋近くのサクラに被害が確認されている。ここは玉川上水の最上流であり、東征することが予想される。カシナガよりも脅威かもしれない。予防または侵入が確認された場合にとるべき対応についての提言を検討できないか。

報告は以上である。

委員長

この意見で主となるナラ枯れはカシノナガキクイムシによるものであり、雑木林などのコナラの被害が大半である。どう防ぐかというのも大事ではあるが、多くの枯れがでることが予想され、雑木林を維持して未来に引き継ぐために、どんぐりの里親制度で育てた苗木を行政上の対応に活用することを提言してもよいと思う。若い木にはつかず、老木に被害がでていることから、雑木林において萌芽更新せず放置気味になっていたことなどが被害の原因ではないかと言われている。そういった意味では、若い木を育て活用することが大事である。

ナラ枯れは10年ほど前に京都近辺で被害が発生し、小平市周辺でもこの1～2年で被害が大きくなっている。今後、被害がどれほど続くか分からず、コナラの被害の可能性が高くなっている。しかし、小平市が管理する雑木林は少なく、東京都の雑木林や管理が分かっている玉川上水、都立公園の小金井公園と対策をとるとしても広域的に実施しなければならない。ナラ枯れについて、委員会として取り上げなければならないと考えるが、まずは被害の状況や症状、生態などの認識を委員会全体で同じ程度のレベルにした方がよい。次回、カシナガキクイムシ及びクビアカツヤカミキリについて、私が知る範囲で説明し委員会全体で情報共有を行おうと思う。事務局には分かる範囲で被害状況を報告してほしい。急いで緊急提言をするのではなく、委員会全体で共通の認識を持った上で議論した方がよいと思う。その上で、委員会においていい考えが出れば緊急提言を行うのもよいと考える。まずは次回、欠席した委員から直接話を聞ければと考える。

委員

ナラ枯れについて、各地域の発生状況や取り組みを調べておくこと次の対策が立てられるのではないかと思う。各地の状況とその対策について調べておいてほしい。

委員長

ナラ枯れによって枯れた木は伐採しなければならないはずである。緑地毎のナラ枯れの被害の本数とその対応について調べておいてほしい。そのデータを共有し、また、各地の情報を確認して議論していければと思う。

委員

福島県での被害があったと確認した。その報告の中で萌芽更新が重要であると書かれているが、小平市において萌芽更新は行われているのか。

委員長

私の知る範囲では、野火止緑地では萌芽更新は行われていた。そこでは、ナラ枯れは出ていない。

委員

前回委員会までナラ枯れについて知らなかった。その後、周りを見てみると、小平名木百選に選ばれた木も被害を受けていた。被害を受けている木の根元には白い粉が出ており、我が家のもみじの木にもあったため、殺虫剤を吹きかけたら復活をした。このようにどうにか対応できないものか。

委員長

もみじにはカシナガはつかず、テッポウムシ、カミキリムシの幼虫が入る。こちららも放置

すれば枯れてしまうが、穴に早い段階で薬剤注入すれば対処できる。この場合、穴は5 mm～1 cmほどである。ナガキクイムシの場合、穴はつまようじの先端ほどの大きさである。また、オスが木につくと、他の成虫をよせつけるフェロモンを出し、虫が集中してやってくるため多数の穴が開く。値段は高いが予防用の薬剤の樹幹注入や、他にもペンキのようなものを木に塗ることやラッピングなど予防方法はある。雑木林は手入れをするものであるため、データをもとに検証できればと考える。

ナラ枯れ以外のことで何かないか。

委員

鎌倉公園や鷹の台公園について、どんな機能があり、どう活用するかなど委員会として目指す方向性を議論できればと考える。

委員長

鎌倉公園の農にふれあう公園について、都市農業の発展基地としてつながりができればと考える。生産緑地法が改正されたなどの視点なども考慮し議論できればと思う。

委員

農にふれあう公園というイメージは良いが自治体が運営している例などはあるのか。

事務局

農業公園として運営している例として、指定管理者制度で会員を募り、会費を払ってもらい体験農園を実施しているなどがある。小平市としての形は決まっていないが、このように農業公園という位置づけで管理、運営されている公園はある。

委員

議論の材料として農業公園の他自治体の事例などあれば次回、教えてほしい。

委員

市民農園を利用して感じるのだが、利用者の自主性を活用していいのではないかと考える。種の交換会や先達から土の作り方のコツを学ぶなどを行うことで、地域づくりにつながるのではないか。

委員長

農業公園については、管理、運営が大事である。普通の公園利用とは違い、特定の人利益を得ることとなる。行政サービスとしてその中でどのようにできるのかが重要である。

前期の緑化推進委員会で農業公園についての話も出ており、実現に向け動いていく今後、どういった公園にしていくかについて委員会として手伝っていければと思う。

他の意見はないか。

委員

市のナラ枯れ対策について、将来的な観点を次回の委員会までに示せるのか。

事務局

大きな方向性を出すのは難しい。短期的な対応としては、市が管理する特別緑地保全地区や保存樹林で100本程みつけたため、完全に枯れてしまっているものについては伐採を行う予定である。今後、数年続くという話もあったが、対策として毎年伐採できるか予算の関係もあり不明確である。今後の方向性は、来年の状況などをみて判断していかなければならないと考えている。

委員長

雑木林は人の手で作られるため、今ある木を守ることも大事であるが、新しくどう作っていくかが重要である。

今後、ナラ枯れのことについて議会などの質問で聞かれることもあると思う。その際は、内容を委員会にも教えてほしい。

委員

ナラ枯れが市で100本という話があったが、通学路などの木は含まれているか。安全面などについて、事故のないよう対応してほしい。

事務局

先ほどの100本程度のナラ枯れを確認したという話は、市が管理する特別緑地保全地区や保存樹林内のこととなる。樹林は道に面している部分もあるが、そこが通学路かどうかは把握していない。しかし、市が確認しているナラ枯れの木については伐採予定のため、倒木などの危険がないよう対応したいと考えている。

委員

ナラ枯れによる危険性は倒木だけでなく、落枝もある。玉川上水緑道など小中学生が通ることも多く落枝の危険はあると思う。

委員長

枯れた木の太い枝などの落枝は危険である。また、市が管理していない部分が多く対応が難しいと思う。落枝の危険などがある木について、写真などで撮って市に連絡し、市が管轄する部署へ連絡をするなどの通報システムが必要かもしれない。国土交通省の調査でも樹木の事故の多くは落枝によるものとなっており、もし緊急提言するとしたらこういった事案か

もしれない。

事務局

通報システムとして出来上がっているわけではないが、玉川上水緑道など、落枝に限らないが、様々な問い合わせはあり、各管理部署へ報告することは日々の業務として行っている。

委員長

枯れていると危険性などあるが、これからの季節は枯れているのか落葉しているのか判断がつかない。新芽が出た頃に分かるようになる。その頃に合わせて、通学路に関する通報システムについて緊急提言するのはありかもしれない。今後、議論をしていければと思う。

委員

ナラ枯れは緊急を要するものもあるが、次回以降、鎌倉公園や鷹の台公園の役割や形なども議論できればと思う。

委員長

公園について議論する際、他の委員から意見として出された5つの項目のうち、公園についての意見を基にしてよいのではないかと。また、他にも用水路のことについても議論する必要がある。

委員

鷹の台公園の予定地の看板が土地開発公社となっているが今後の影響はあるのか。

事務局

現在は小平市土地開発公社が持っている状況になり、今後、市として購入する。いずれは水と緑と公園課の管理する土地となる。

委員

配付された市立公園等一覧を確認したが、315園と多い公園を少ない職員で管理するのは難しさがあると感じる。そういった状況から、小規模公園における老朽化した遊具等の修繕などについても、場当たりの対応になっているのではないかとと思われる。新しく整備される公園についても様々なものがある。市として整備の方向性を持ったほうが良いのではないかと。

また、街の中でハンギングバスケットを行うのも良いが、公園で行った方が良いのではないかと。

委員

小平駅の花植えをボランティアで行っているが、高齢化が進んでいる。若い人たちなど参加してもらい、公園ボランティアなどで清掃などしてもらおうということが必要である。そうした人を集める方法をとったらどうか。

委員長

若い世代は共働きの家庭も多く、貴重な休みに市のためにボランティアとして動いてもらうためにはどうしたらいいか、それは緑化推進委員会で考えていくことであると思う。若い世代に促すだけでなく、どう仕掛けるかを考えていく必要がある。

本日はここまでとし、次回に再度、議論できればと思う。

以上